



一般社団法人

自転車駐車場工業会ニュース

安全安心社会の実現の為に、総合的先進システムを取り入れ、心のこもった自転車駐車場の普及活動を国際的視野で行い、自転車駐車場工業会の社会的地位の向上を目指します

事務局：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町7-2
TEL 03-3663-6284 FAX 03-3667-9637
URL <http://www.jichuko.net/>
E-mail jic3533@jichuko.net

2025年度 総会・懇親会 開催報告

5月13日に2025年度定時社員総会を開催し、全議案が承認されました。また、総会後に開催した臨時理事会において、新体制が承認されました。三役は以下のとおりです。

理事長 森井 清
副理事長 相澤 英人
専務理事 関根 正美

ここからは、総会に引き続いて開催された懇親会における主催者、来賓の挨拶を抜粋、要約してお伝えします。



◆ 主催者挨拶 一般社団法人 自転車駐車場工業会 森井 清 理事長（本誌発行人）

この度、理事長を拝命しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日頃から皆様方には当工業会の活動に多大なるご理解とご協力をいただいております。この場を借りて御礼を申し上げます。

当工業会も新しい体制になり、今期2025年度は新たな事業計画として、大きく3つ掲げております。

1つ目は特定小型原動機付自転車を含む多様な自転車に対応した駐輪ラック、管理機器の開発を、自転車駐車場のニーズを踏まえて当工業会として推進してまいります。多様な自転車に対応するためには、より高度な駐輪ラック、管理機器開発が急務です。当工業会には

精鋭のメーカーが揃っておりますので、十分力を注いで推進してまいりたいと思っております。

2つ目としては、自転車駐車場の

DXを推進してまいります。DXの推進は我々の業界にとっても必要不可欠なものであると考えており、当工業会では新たにDX委員会を立ち上げました。DXを加速度的に進めることによって、業界の発展に努めてまいりたいと思います。

3つ目は、管理コストの上昇に見合った利用料金の引上げを訴えてまいります。昨今の物価高や人手不足という面を非常に危惧しており、この課題を当工業会として、そして業界全体として皆様に訴え、料金の適正化を進めていきたいと思っております。

このように当工業会は課題が山積しており、ネガティブな会話に陥りがちですが、やるからには皆さんと夢を語り合えるような、そんな業界にしていきたいと思っております。

夢を語り合い、素晴らしい業界なのだとすることを、世の中に伝えていきたいと思っておりますので、ぜひ皆様には今後もお力添えとご指導のほど、よろしくお願いいたします。



自転車



◆ 来賓挨拶 国土交通省 服部 卓也 大臣官房技術審議官（都市局担当）

今日ここにご参集の皆様方には、国土交通行政、特に自転車駐車場の整備や、それらに用いる機器の安全性の確保など、自転車に関する様々な面でご尽力いただいていることに、改めて感謝申し上げます。

我々は今年の3月、「自転車等駐車場の整備のあり方に関するガイドライン」を改訂しました。今回の改訂では、国土交通省都市局が進めているコンパクト・プラス・

ネットワークの取り組み、人中心のまちづくり、ウォークアブルの政策などを盛り込みながら、特定小型原動機付自転車のような新たなモビリティへの対応にも触れています。このガイドラインに基づいて、ぜひ皆様方と一緒に自転車に関する政策に取り組んでいくことができれば、と考えております。

今後も様々な場面でご意見を聞かせていただければ、我々としてもさらに政策を前に進めていくことができると思いますので、引き続き皆様方のご協力をお願いいたします。

自転車



◆ 来賓挨拶 公益財団法人 自転車駐車場整備センター 樺島 徹 理事長

これまでも当センターの取り組みを紹介する際、「ITスタンダード」という話を申し上げてまいりました。

コロナ禍の苦労を振り返るとき、その裏側で起きていたことも見ていかなければならないと思います。その一つがデジタル化の進展だと思えます。今は、古い自転車駐車場の大量更新時代に差し掛かっています。場内にいかに多くの自転車を収容するか。その一方で、大型化や多様化が進む自転車にいかに対応するか。大型化や多様化への対応は収容台数の減少につながることもなり、難しい面もあります。自転車駐車場の利用はコロナ禍以前の水準には

完全には回復しないという見方もありますので、これを場内の余裕に振り分け、扱いやすい自転車駐車場にするチャンスでもあると考え、それと合わせて料金適正化による自転車駐車場の利用の平準化を図ることを今年の第一の課題として掲げています。

これらの取り組みのためには、我々も机上で考えるだけではなく、現場で何が起きているのかを捉えるためにアンテナを伸ばしていく必要があります。そのアンテナは、ここにお集まりの貴工業会の皆様につながっていると思います。今、現場で何が起きているのか、好事例にはどのようなものがあるのか、こういったことを捉えることのできる一年にしたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆ 乾杯挨拶

一般社団法人 自転車駐車場工業会
相澤 英人 副理事長



皆様、本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。先ほどからお話がありますように、森井新理事長のもと新体制での1年がスタートします。皆様と一致協力、団結して、当工業会を盛り上げていきたいと思っておりますので、ぜひ皆様のご協力を賜りたいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

◆ 中締め

一般社団法人 自転車駐車場工業会
関根 正美 専務理事



管理運営システムのDX、機械化、キャッシュレス化といった対応やシェアサイクル等との連携なども考えていかなければならないと思います。法令改正によって様々なモビリティの登場、原付バイクの新基準への対応なども求められます。今後も当工業会に対してご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

DATA

開催日：2025年5月13日

会場：KKRホテル東京（東京都千代田区）